

次なる感染症危機への備え

～新しい政府行動計画が目指すもの～

政府では、新型コロナウイルス感染症対応の経験を踏まえ、感染症危機に対し強靱な社会の実現に向けて、令和6年7月に「新型インフルエンザ等対策政府行動計画」の全面改定を行いました。新しい行動計画の内容を踏まえ幅広く議論し、平時から次の感染症危機への備えについて理解を深めていただくことを目的として、本シンポジウムを開催します。

日時

令和7年1月10日(金) 13:00～15:00

参加方法

オンライン参加 (YouTube Live)

申込み期間：令和6年12月12日(木)～令和7年1月9日(木)

参加費
無料
事前のお申込みが
必要です。

プログラム

13:00

主催者挨拶

赤澤 亮正 感染症危機管理担当大臣



13:05

基調講演

五十嵐 隆 国立成育医療研究センター理事長



13:30

パネルディスカッション

モデレーター

パネリスト



福田 充

日本大学危機管理学部
学部長・教授

大曲 貴夫

国立国際医療研究センター
国際感染症センター長
国立国際医療研究センター
病院副院長

(感染・危機管理担当、災害、救急担当)



工藤 成生

日本経済団体連合会
危機管理・
社会基盤強化委員会
企画部会長

齋藤 智也

国立感染症研究所
感染症危機管理研究
センター長

坂上 博

読売新聞東京本社
調査研究本部 主任研究員

杉本 達治

福井県知事
全国知事会
社会保障常任委員会 副委員長

鷺見 学

厚生労働省
健康・生活衛生局
感染症対策部長

奈良 由美子

放送大学教養学部 教授



日下 英司

内閣官房
内閣感染症危機管理統括庁
内閣審議官

村上 陽子

日本労働組合総連合会
副事務局長

15:00

閉会

次なる感染症危機への備え

～新しい政府行動計画が目指すもの～

登壇者プロフィール

基調講演 五十嵐 隆 国立成育医療研究センター 理事長

1978年東京大学医学部医学科卒業。同小児科、清瀬小児病院腎内科、Harvard大学Boston小児病院を経て、2000年より東京大学大学院医学系研究科小児医学講座小児科教授。2003年から2006年および2007年から2011年まで副院長。2011年より2012年まで東京大学教育研究評議員。2012年より国立成育医療研究センター理事長。日本学術会議第二部会員、日本小児科学会会長、東京大学医師会会長を歴任。2023年9月新型インフルエンザ等対策推進会議議長に就任。



モデレーター 福田 充 日本大学危機管理学部 学部長・教授

1969年、兵庫県西宮市生まれ。東京大学大学院人文社会系研究科博士課程単位取得退学。博士（政治学）。専門は危機管理学、リスクコミュニケーション、テロ対策、インテリジェンスなど。内閣官房等で防災、テロ対策、国民保護に関する委員、内閣官房新型インフルエンザ等対策有識者会議委員などを歴任。著書に『リスクコミュニケーション～多様化する危機を乗り越える』（平凡社新書）、『新版・メディアとテロリズム』（新潮新書）、『政治と暴力～安倍晋三銃撃事件とテロリズム』（PHP新書）など多数。



お申込み方法・お問合せ先

内閣官房内閣感染症危機管理統括庁主催シンポジウム事務局

参加をご希望の方は、下記URL又はQRコードの申込みフォームからお申込みください。

メール：staff@liveup.tokyo

申込みフォーム：<https://www.secure-cloud.jp/sf/business/1732502204lfjqnSQI>



申込み期間 令和6年12月12日(木)～令和7年1月9日(木)